

三次看護専門学校 授業要項

科 目		治療栄養学		担当講師名	外部講師（管理栄養士）
学 科 名		学年	時間数	実 施 時 期	
第二看護学科		1	15時間	令和8年6月4日～7月9日	
科目目標・単元目標：各疾患の治療方針に基づいた食事療法の基準を理解し、看護プロセスの一環としての栄養管理を習得する。根拠に基づいた食支援の実践を通じて、合併症の予防や治癒の促進、健康の回復に寄与する看護実践能力を養う。					
授業概要：現代日本の食生活と健康課題を背景に、栄養管理の意義と看護師の役割を学ぶ。五大栄養素の生理的な役割を理解し、身体症状や検査データから栄養状態を判定するアセスメント能力を養う。また、疾患別の食事療法の根拠を習得するとともに、調理実習を通じて、患者の生活に寄り添った具体的な食支援技術を身につける。					
授 業 内 容	回数			回数	
	1	オリエンテーション、看護と栄養、健康づくり、調理実習要項		11	
	2	栄養素の働き、循環器疾患の食事療法(高血圧と動脈硬化及び心疾患の栄養管理)		12	
	3	循環器系疾患の食事療法（高血圧と動脈硬化及び心疾患の栄養管理）		13	
	4	代謝性疾患患者の食事療法（糖尿病の栄養管理）		14	
	5	泌尿器系疾患患者の食事療法（腎臓病と透析治療期の栄養管理）		15	
	6	高血圧疾患患者の栄養管理（減塩食の調理実習）			
	7	高血圧疾患患者の栄養管理（減塩食の調理実習）		テキスト・参考書	
	8	症例検討		専門基礎分野 栄養学 医学書院	
	9	終講試験		成績評価の方法	
	10			☒ 筆記試験 ☐ 実技試験	

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間に含めます。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		微生物学			担当講師名		橋本 温
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期		
第二看護学科		1		30	令和8年度前期		
科目目標・単元目標 微生物の特徴と身体に及ぼす影響を学び，その対応について理解する。							
回数	内 容			回数	内 容		
1	ガイダンス 微生物の性質			11	主な病原微生物 「細菌（１）」		
2	感染と免疫①			12	主な病原微生物 「細菌（２）」		
3	感染と免疫①			13	主な病原微生物 「DNAウイルス」		
4	感染と免疫②			14	主な病原微生物 「RNAウイルス＋その他」		
5	感染症の検査と診断 「病原体の検出，抗体の検査」			15	主な病原性微生物 「真菌・原虫」		
6	微生物学実験 1				試験		
7	微生物学実験 2			テキスト・参考書 ・系統看護学講座専門基礎分野；微生物学 医学書院			
8	微生物学実験 3						
9	感染症の治療 「化学療法の基礎」			成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験			
10	感染症の現状と対策						

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科目		病理学		担当講師名		三次地区医療センター院長	
学 科 名		学年	時間数	時 期			
第二看護学科		1	15	令和8年度前期			
科目目標・単元目標 病因と疾病による人体の形態や機能の変化を学び、各機能障害に関わる病態，診断・検査，治療を理解する。							
授業概要 病変と病因の特徴を理解する。							
授 業 内 容	回数			回数			
	1	病理学で学ぶこと 生活習慣と環境因子による生体の障害 先天異常		11			
	2	細胞・組織の障害と修復 代謝障害		12			
	3	循環障害		13			
	4	炎症と免疫 膠原病		14			
	5	感染症と病原微生物 主な病原体と感染症 感染症の治療と予防		15			
	6	腫瘍の定義と分類 悪性腫瘍の広がりと影響 腫瘍の発生病理，腫瘍の診断と治療		16			
	7	老化と死		テキスト・参考書 医学書院，病理学			
	8						
	9			成績評価の方法 ■ 筆記試験			
	10			☐ レポート試験 ☐ 実技試験			

三次看護専門学校 授業要項

科 目		病態生理学 I			担当講師名		市立三次中央病院医師、 庄原赤十字病院医師		
学科名		学年	クラス	時間数	開 始 時 期				
第二看護学科		1		30	令和 8 年度前期				
科目目標・単元目標 酸素を取り入れ運搬する機能、消化・吸収・代謝に関する機能及び身体の内部環境を整え身体を防御する機能の障害の病態と診断、治療を理解する。									
授業概要 各担当講師より、各機能と病態、治療について講義をとおして理解を深める。									
回数	月日	時間数	内 容		回数	月日	時間数	内 容	
1		2	循環器疾患の病態と治療 心筋梗塞、狭心症他		11		2	泌尿器系疾患の病態と治療	
2		2			12		2	内分泌疾患の病態と治療 糖尿病、甲状腺他	
3		2	呼吸器疾患の病態と治療 COPD、肺がん他		13		2	血液系疾患の病態と治療 白血病、貧血、DIC他	
4		2			14		2		
5		2	消化器疾患の病態と治療 肝炎、肝硬変、膵臓がん、胆道疾患、食道・胃・大腸疾患他		15		2		
6		2			テキスト・参考書 医学書院 e テキスト				
7		2							
8		2							
9		2							
10		2	腎・尿路系疾患の病態と治療 腎不全、透析他		成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験				

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		病態生理学Ⅱ			担当講師名		市立三次中央病院医師、クリニック花の里医師、JA吉田総合病院医師	
学科名		学年	クラス	時間数	開 始 時 期			
第二看護学科		1		20	令和8年度後期			
科目目標・単元目標 情報を処理して身体を動かす機能、生殖に関する機能の障害に関わる病態と診断、治療を理解する。								
授業概要 各担当講師より、各機能と病態、治療について講義をとおして理解を深める。								
回数	月日	時間数	内 容		回数	月日	時間数	内 容
1		2	脳神経系疾患の病態と治療 脳血管疾患、頭部外傷他					
2		2						
3		2	運動器疾患の病態と治療 骨折・変形性疾患 脱臼、脊椎損傷他					
4		2						
5		2	A L S、難病他 認知症					
6		2						
7		2	慢性関節リウマチ、膠原病他 生殖器系疾患の病態と治療 子宮筋腫、子宮がん他		テキスト・参考書 医学書院 e テキスト 成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験			
8		2						
9		2						
10		2	乳がん他					

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目	病理学各論Ⅲ (看護の視点から見る病気)			担当講師名	専任教員
学 科 名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	開 始 時 期
第二看護学科	1		2(40)	講義・演習	令和8年度後期
科目目標・単元目標 病態生理学で学習した知識を基に、患者の起きている病理的变化を看護の視点で理解する考え方を身につける。 1. 酸素を身体の間々まで運搬する機能及び代謝する機能に関する病理的变化(循環器系・消化器系)について看護の視点で理解できる。 2. 情報を処理する機能及び身体の内環境を整える機能に関する病理的变化(脳神経系・内分泌系)について看護の視点で理解できる。					
授業概要 この授業では、紙上患者に起きている病理的变化を理解する演習を取り入れている。 この演習は、PBL(Problem Based Learning)＝問題基盤型学習という学習方法で学習し、受け身的に学ぶのではなく、自分たちで調べ、考え、わかって自分たちの力にしていける取り組みである。 具体的には、臨床で遭遇しやすいscenarioを用いて、そこにある課題を自分たちで見つけ、それを解決しながら学習することで問題解決能力を身につけ、臨地実習での患者の理解や看護の方向性を導き出すことにつなげたい。それと同時に自ら問題意識をもって学習計画を立て、その達成度をモニタリングしながら学習することで主体的に学ぶ力を身につける。					
回数	時間数	内 容	回数	時間数	内 容
1	2	I PBLオリエンテーションと学習のガイダンス 1. 病理学的変化と疾病理解の看護学視点 2. ビジョンとゴールの設定 3. グループの目標設定 4. 学習課題の明確化と学習計画	12	2	Ⅲ. 脳神経系・内分泌系に生じた病理的变化の理解 【グループでの学習】 1. 各自の学習課題のプレゼンテーションと質疑応答、内容の理解 2. 次回の学習課題の確認、必要時学習計画の修正
			13	2	
2	2	Ⅱ. 循環器系・消化器系に生じた病理的变化の理解 【グループでの学習】 1. 各自の学習課題のプレゼンテーションと質疑応答、内容の理解 2. 次回の学習課題の確認、必要時学習計画の修正	14	2	
3	2		15	2	
4	2		16	2	
5	2		17	2	【グループでの学習】 3. 各自の学習課題のプレゼンテーションと質疑応答、内容の理解 4. まとめに向けての発表の準備
6	2		18	2	
7	2	【グループでの学習】 3. 各自の学習課題のプレゼンテーションと質疑応答、内容の理解 4. まとめに向けての発表の準備	19	2	5. 成果発表
8	2		20	2	6. 教え合い 7. 内容確認テスト
9	2	5. 成果発表			
10	2	6. 教え合い 7. 内容確認テスト	テキスト・参考書 ○専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学, 医学書院 ○専門分野 成人看護学[2]呼吸器, [3]循環器, [5]消化器, [6]内分泌・代謝, 医学書院		
11	2	Ⅲ. 脳神経系・内分泌系に生じた病理的变化の理解 1. ビジョンとゴールの設定 2. グループの目標設定 3. 学習課題の明確化と学習計画	成績評価の方法 ☒ 確認テスト ☒ 演習の取り組み(ループリック) ☒ 成果発表		

※1回「2」は、90分(2時間)です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		薬理学			担当講師名		平野 真		
学科名		学年	クラス	単位(時間数)	実 施 時 期				
第二看護学科		1		1 (30)	令和8年9月28日～令和9年 2月15日				
科目目標・単元目標 薬物の作用メカニズムを理解し、その特徴と作用、副作用を理解する。									
授業概要 主な疾患の治療に用いられる薬物の特徴とその作用、副作用を理解し、薬物療法における患者のケアに必要な基礎知識を修得する。									
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容	
1	9/28	2	薬理学総論1 ・薬理学とは ・薬物とは		11	12/21	2	薬理学各論8 ・消化器系作用薬	
2	10/5	2	薬理学総論2 ・薬が作用する仕組み ・薬の体内動態		12	1/18	2	薬理学各論9 ・生殖器系作用薬 ・泌尿器系作用薬	
3	10/26	2	薬理学総論3 ・薬物相互作用 ・薬の有益性と危険性		13	1/25	2	薬理学各論10 ・代謝系作用薬	
4	10/26	2	薬理学各論1 ・抗感染症薬 ・消毒薬		14	2/8	2	薬理学各論11 ・皮膚科用薬 ・眼科用薬	
5	11/2	2	薬理学各論2 ・抗がん薬 ・免疫治療薬		15	2/15	2	薬理学各論12 ・救急で使用する薬物 ・漢方薬	
6	11/9	2	薬理学各論3 ・抗アレルギー薬 ・抗炎症薬						
7	11/16	2	薬理学各論4 ・末梢神経系作用薬		テキスト・参考書 系統別看護学講座 薬理学 (第16版、医学書院、ISBN：978-4-260-06200-8)				
8	11/30	2	薬理学各論5 ・中枢神経系作用薬						
9	12/7	2	薬理学各論6 ・循環器系作用薬		成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験				
10	12/14	2	薬理学各論7 ・呼吸器系作用薬						

※1回は90分(2時間)です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		治療論			担当講師名		外部講師		
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期				
第二看護学科		1年		30	令和8年度後期				
科目目標・単元目標 麻酔・放射線・リハビリテーション医学の理論と方法を理解する。									
授業概要 各担当講師より、各治療や看護について講義や実技をとおして理解を深める。									
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容	
1		2	リハビリテーション医学 (広島大学リハビリテーション科教授)		10		2	理学療法の実際 (庄原赤十字病院：理学療法士)	
2		2			11		2		
3		2	放射線の性質 医療放射線被ばく (放射線教育講座)		12		2	作業療法の実際 (庄原赤十字病院：作業療法士)	
4		2	がん放射線治療と看護 (市立三次中央病院：がん放射線療法看護認定看護師)		13		2		
5		2			14		2		
6		2	麻酔学 手術看護 呼吸管理と輸液 全身麻酔と局所麻酔 (市立三次中央病院：麻酔科医師、県立広島病院：手術室認定看護師)		15		2	言語聴覚療法の実際 (庄原赤十字病院：言語聴覚士)	
7		2			テキスト・参考書 医学書院：臨床外科看護総論、がん看護学、リハビリテーション看護 など				
8		2			成績評価の方法 ☒ 筆記試験				
9		2			☐ レポート試験 ☐ 実技試験				

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。